

「技術講習会」を開催

溶接・検査技術学ぶ

広島県鉄構工業会・青年部会

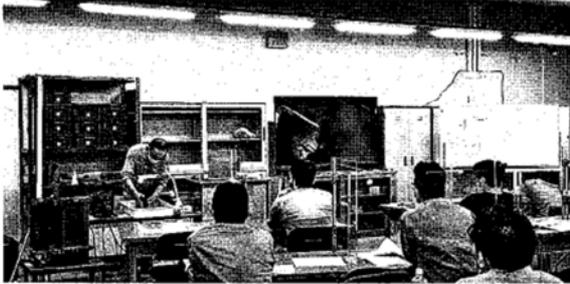
広島県鉄構工業会の青年部会（部会長＝川野法幸・境谷工業取締役工場長）は9日、広島市中区の広島職業能力開発促進センターで「溶接・検査技術向上講習会」を開催した。

溶接部の外観や内部欠陥について理解を深め、鉄骨製品の品質向上につなげることを目的としたもので、部会員ら約20人が参加した。

当日は同センターの近藤友樹上級指導員が講師を務め、外観確認や非破壊検査について講義した。講習では全国鉄構工業協会 青年部（略称・全青会）が所有している溶接欠陥サンプルを使用した。

講義では初めに溶接部欠陥の種類と原因、その対策、JASS6に定められている管理許容差や限界許容差について解説した。

続いて継手試験の方法に



溶接欠陥部の探傷を確認

ついて欠陥サンプルを使用して解説。破壊試験では曲げ試験やマクロ組織試験の欠陥内容を確認した。非破壊検査では①外観（目視）や磁粉探傷試験、浸透対象試験の表面探傷②超音波探傷試験（UT）と放射線透過試験の内部探傷——について実演を交えて説明した。川野部会長は「全青会から借りたサンプルを使用したことにより、実際に欠陥が確認でき、学ぶ点が多かった。コロナ禍の影響で久しぶりの事業となったが有意義だった」と総括した。